

イベントレポート

商業高校出身のタレント・みやぞんさん登壇！ 「“NEXT”——都立商業高校セッション～あなたの商業高校のイメージをアップデート！～」開催 都立商業高校にまつわる〇×クイズを実施！知られざる魅力にみやぞんさんも思わずびっくり みやぞんさん「商業高校で学ぶことによりいろいろな道を選べると思います」 商業高校在学当時のエピソードも披露！

東京都教育庁は、令和8年8月9日（日）に東京国際フォーラムにて、中学3年生と保護者等を対象とした「“NEXT”——都立商業高校セッション～あなたの商業高校のイメージをアップデート！～」を開催いたしました。



会場には中学生とその保護者を中心に多くの方が来場し、クイズ形式のイントロダクション、パネルディスカッション、模擬授業、在校生によるプレゼンテーションという4つのプログラムを通じて、都立商業高校の「リアル」を体感しながら学べる場となりました。スペシャルゲストには、自身も商業高校出身のタレント・みやぞんさんが登壇し、商業高校の魅力をご自身の実体験を元に来場者へ伝えました。

— 素材ダウンロードURL — 【PASS : NEXT】

オフィシャル素材：<https://x.gd/j3n3a>

・本発表会で撮影された映像・写真は本発表会のための報道を目的とした使用に限らせていただきます。

商業高校出身のみやぞんさんご登壇！ みやぞんさん「商業高校で得た経験を皆さんにお伝えできたらと思っています」と笑顔でコメント

MCによる本イベントの概要説明が行われ、その後、スペシャルゲストのみやぞんさんがご登壇。自身も商業高校出身であることを明かしたみやぞんさんは、「私も商業高校で得たことがたくさんありますので、今日はその経験を皆さんにお伝えできたらと思っています」とコメント。

さらに、登壇直前に商業高校時代の恩師と再会したというエピソードも披露。当時の思い出を振り返りながら、会場を明るく和ませるトークを展開し、商業高校で過ごした経験や、そこで得た学びについて語りました。



「知られざる魅力がいっぱい！？都立商業高校の『リアル』クイズ」 山田校長先生「自分の得意なことや好きなことを見つけたい人にとっては、新しい自分に出会えるチャンス」

第1部のイントロダクションでは、みやぞんさん、都立芝商業高等学校 山田和人校長先生・都立第三商業高等学校 智片将也校長先生、國學院大學経済学部1年生・持井望日子さん、都立第三商業高等学校・鹿野珠李先生、株式会社ガーデン代表取締役社長・川島賢氏、名古屋産業大学・石山智典教授の計7名が登壇。山田校長先生と智片校長先生が出題者となり、参加者がクイズに答えながら都立商業高校について学び、クイズ形式の学校紹介を実施しました。

「商業高校では、国語・数学・英語・理科・社会の5教科は勉強しない。〇か×か？」という第1問では、多くの参加者が「×」と回答し、見事正解。山田校長先生は、「高等学校ですので、国語・数学・英語・理科・社会の5教科は勉強しますが、全体の授業の約3分の1は、ビジネスに関する専門科目の授業になります」と解説しました。さらに、社会のリアルな仕組みやパソコンを使った実践的な授業にも深く取り組むことができ、「今の5教科の勉強に加えて、もっと別の視点から自分の得意なことや好きなことを見つけたいという人にとっては、新しい自分に出会える大きなチャンス」と、商業高校ならではの学びの魅力を語りました。

実体験を交えたエピソードに、会場の参加者も商業高校での学びをより身近に感じている様子でした。



「就職も、大学進学も！商業高校で見つかるミライ！」 みやぞんさん「僕自身、商業高校を出て芸人になっているので、いろいろな道を選べと思います」

続くパネルディスカッションでは、高校生や保護者が抱く率直な疑問に対し、登壇者がそれぞれの立場から回答。商業高校での学びが大学進学や将来のキャリアにどのようにつながるのか、白熱したトークが繰り広げられました。

「商業高校の学びが大学進学につながる？」「将来、どのようなキャリアに広がる？」 商業高校の魅力をそれぞれの視点から語る

「商業高校の学びは大学進学にもつながるのか」というテーマに、持井さんは自身の経験を交えて回答。「商業高校ではプレゼンテーションを行う授業がたくさんあり、大学入試の面接でもその経験が生まれました。また、経済学部で学ぶ内容には商業高校で学んだことの延長線上にあるものも多く、基礎が身についていたことで授業内容を理解しやすかったです」と語りました。智片校長先生は、「商業高校では、受験勉強だけでなく、資格取得などの日々の頑張り、そのまま大学受験の強みになります」と説明。

また、みやぞんさんは、商業高校で学んだ知識が現在の仕事にも役立っていることを紹介。「僕は簿記の3級を持っていて、だいぶ役に立ってますね」と語り、花屋で働いていた際にも「花をいくらで仕入れて、いくらで売るかというときも、頭ですぐパパッと計算できちゃう。そういうのはかなり助かりました」と、簿記の知識が実生活で生きたエピソードを披露しました。さらに、商業高校で培われる「考える力」についても言及。お笑いの場でも「どのカードを出すか」「今これをどういうふうに言うか」といったことを頭の中で整理する力につながっていると説明し、商業高校で身につけた力が、現在の芸能活動にも生きていることを語りました。

みやぞんさん「商業高校は魅力だらけです！」“柔道の受け身”に例えて商業高校の魅力を語る

最後に商業高校の魅力について聞かれると、みやぞんさんは「魅力だらけなんですけどね」とコメント。商業高校での学びを「柔道で言うところの受け身の練習」に例え、赤字にならないようにといったリスクを事前に学ぶことで、社会に出てから起こり得る失敗への“予行練習”ができると説明しました。また、備える力を身につけられることが商業高校の大きな魅力だと強調。「受け身の練習が商業高校でできるから、危険かもしれないとか、赤字にならないようにっていう勉強をした上で社会に出ると、あんまり痛い目に遭わないかなと思います。受け身の練習ができるっていうのも魅力かなと思ってます」と、商業高校で学ぶ意義について熱く語りました。



授業の空気感をそのまま体験する 模擬授業「体験！ビジネス授業」を実施！ 林敏昭先生「教科書に書いてあるから覚えてね、ではなくて、実際に使えないと意味がない」

都立第一商業高等学校・林敏昭先生が模擬授業「体験！ビジネス授業」を展開しました。

授業では、マーケティングにおける「STP分析」を題材に、市場を細かく分ける「セグメンテーション」、狙いを定める「ターゲティング」、他の商品との差別化を図る「ポジショニング」について、身近な商品を例にしながら解説。参加者も実際にポジショニングマップを作成し、マーケティングの考え方を体験しました。

林先生は、「教科書に書いてあるから覚えてね、ではなくて、実際に使えないと意味がない」と、知識を実践につなげることの重要性を説明。実際に学んだポジショニングの考え方を文化祭の企画にも活用しており、「生徒たちは誰をターゲットにして、どんなポジショニングをして差別化を図るか」を考えながら、クラスごとの企画を検討していることを紹介しました。

さらに授業の後半では、STP分析を高校選びにも応用し自分が高校生活で大切にしたいことを軸に、学校選びを考えるワークを実施しました。部活動や授業内容、校舎、通学のしやすさ、校則など、それぞれの「こだわり」を軸にポジショニングマップを作成し、自分に合った高校を比較検討しました。

みやぞんさんも当時の高校選びを振り返り、「部活」と「距離の近さ」を軸に学校を比較したと明かしました。

最後に林先生は、「やりたいことはなんだろう、高校に入ったらどんなことができるんだろう」ということを考えてください」と呼びかけました。ビジネスの現場で活用されるマーケティングの考え方を自身の進路選択にも応用することで、参加者は「自分は高校で何をしたいのか」を考えるきっかけを得ました。



「憧れに変わる！在校生のプレゼンテーション」 みやぞんさん「商業高校っていいなと改めて思います。商業高校で良かったと思うことがたくさんあります。」

結びのプログラムでは、都立商業高校に在籍する生徒が登壇し、企業と連携した商品開発などについての発表を行いました。江東商業高等学校と第五商業高等学校の生徒がそれぞれグループで登壇し、高校生活で磨いた発表力を存分に発揮。完成度の高いプレゼンテーションに、会場からは大きな拍手が送られました。

2校のプレゼンテーションを聞いたみやぞんさんは、「オリジナルのタオルを作ろうと思うんだけど、どう思う？」と生徒に質問。生徒からのアドバイスを受け、「500枚作ろうと思います！」とコメントし、会場を盛り上げました。また、プレゼンテーションで紹介されたドリップコーヒーをみやぞんさんにプレゼントする場面も。みやぞんさんは「ありがとう」と笑顔で受け取り、生徒と握手を交わすなど、和やかな交流が生まれました。

最後に、みやぞんさんは「商業高校ってやっぱりいいなと改めて思います。僕も商業高校で良かったと思うことがたくさんあるので、ぜひみなさん商業高校に入っていただきたいです」と参加者に呼びかけ、会場から盛大な拍手が送られる中、イベントは幕を閉じました。



みやぞん

2009年にコンビ結成後、唯一無二の天然＆天真爛漫なキャラクターでブレイク。現在は芸能事務所「かおまる」を設立し、フリーとしてテレビ、CM、講演会、イベントなど多方面で大活躍中。人気バラエティ番組の世界ロケでは、類まれなる身体能力を活かし、各地の無理難題に全力でチャレンジ。その真っ直ぐに立ち向かう姿は、世代を問わず多くの人々に感動を与えている。また、テレビ番組『アメトーーク！』の「商業高校芸人」にも出演するなど、商業高校とは深い縁を持つ。

□ ■ □ 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 □ ■ □

“NEXT” —— 都立商業高校セッション PR事務局（株式会社 マテリアル内）

TEL:03-5459-5490 / FAX:03-5459-5491 / MAIL:mtbp2@materialpr.jp

[担当] 鶴田（070-7789-2799） 小林（080-5533-1472）